

開催 結果

令和6年度 圏央道・新東名等整備促進大会

- 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会などの4団体が合同で、神奈川県内の幹線道路網の整備促進大会を開催 - 令和6年7月31日(水曜日)

促進大会の様子

要望活動の様子

■ 主催者挨拶 神奈川県副知事 橋本 和也



「つながるべき道路をつなげていく」ことは、神奈川のみならず、国全体の経済エンジンをまわし、コロナ禍で疲弊した地域経済の復興等に対応していくためにも重要です。
引き続き、道路の整備や管理に関する国の予算を十分に確保できるように、皆様と連携しながら、国などに強く訴えてまいります。

■ 意見発表 藤沢商工会議所 会頭 増田 隆之



市内の観光振興推進や物流の円滑化、企業立地の促進が期待される横浜湘南道路と高速横浜環状南線の早期開通と地域活性化を促す新東名高速道路の整備促進をお願い申し上げます。

■ 大会決議 大井町長 小田 眞一



安全で活力と魅力ある神奈川を実現するため、国土強靱化に必要な予算の確保や、高速道路網の整備促進を図ることなどについて、強く要望します。



▲ロイヤルホールヨコハマで開催

■ 意見発表 秦野市長 高橋 昌和



「全国屈指の森林観光都市」を目指す秦野市にとって、新東名の整備効果を相乗的に高める厚木秦野道路は重要な幹線道路であり、全線事業化、全線開通を目指し尽力してまいります。

■ 閉会挨拶 厚木市長 山口 貴裕



力強く持続的な経済成長や豊かで活力ある地域づくり、安全・安心な県土づくりの礎となる道路ネットワークの整備を促進するため、道路整備の必要性と財源の確保をより強く訴えていきます。

■ 国土交通省 佐々木道路局次長



(左から) 山口厚木市長、佐々木道路局次長、橋本副知事

整備促進大会終了後は、橋本神奈川県副知事、山口厚木市長が、国土交通省 佐々木道路局次長に対し、整備促進大会で決議された「神奈川県内の幹線道路網の整備と活用」に関する要望を行いました。

■ 会場要望活動の様子



整備促進大会終了後は、東日本・中日本高速道路(株)、首都高速道路(株)に対し、整備促進大会で決議された「神奈川県内の幹線道路網の整備と活用」に関する要望を行いました。